

啓明 劇的V

サッカー

13年ぶり

県高校総体

県高校総体は23日、各地で行い、サッカーは水戸啓明が鹿島学園との延長にもつれ込む接戦を制し、13年ぶり3度目の優勝を飾った。バスケットボール男子は土浦日大が2年連続39度目、女子は竜ヶ崎二が3年ぶり2度

サッカー

(笠松運動公園陸上競技場)

▽決勝(40分ハーフ)

水戸啓明 1-0-0 鹿島学園

延長

0-0

1-0

▽得点者(水戸啓明) 延長12分

【水戸啓明】4・4・2

子并沢副部永田山川

黒次川阿富吉村石神3・3・16

G K H K K K

幸村屋合井岡 成中0・2・23

木 文 S C F P

鈴木中松河森吉 清山

【鹿島学園】4・3・3

▽交代(鹿島学園) 文 白須(山

中奥津 河合 鈴木都(笠井)

【水戸啓明】 神山 石橋(村山)

高柳(石川) 佐藤(阿部)

▽警告(鹿島学園) 水戸啓明

※優勝校が全国高校総体(8月1

目の頂点。卓球男子個人シングルスは大友健悟(明秀日立)、同女子は荒美咲(同)が制した。

水泳の競泳男子は200メートル個人メドレーで野田飛雄馬(古河一)が大会新記録で優勝。400メートル個人メドレーと合わせて2冠を達成した。女子は200メートル個人メドレーで小野寺涼夏(鹿島学園)が2分19秒41の県高校新記録を樹立し400メートル個人メドレーと2冠。100メートルバタフライは平山友貴奈(鹿島学園)、1000メートル平泳ぎは吉沢美紀(古河一)が制した。

飛び込み男子は貝塚佑介(霞ヶ浦)、同女子は山村有里佳(常磐大高)がともに2冠達成。水球は並木が優勝した。

バレーボール男子は霞ヶ浦、勝田工、古河一、土浦日大が4強入りした。

〈サッカー決勝〉鹿島学園―水戸啓明 延長後半ロスタイム、水戸啓明のFW高柳(19)がゴールを決める―笠松運動公園

延長後半 高柳、土壇場で千金弾



延長後半 高柳、土壇場で千金弾



死闘の幕切れにふさわしい豪快な一発だった。0-0で迎えた延長後半ロスタイム。水戸啓明のFW高柳翔一(2年)は左寄りでのパスを受けると「点を取るのが自分の役目。ゴールしか見ていなかった」。ペナルティエリアの外から思い切り右足を振り抜き、値千金の決勝弾。チームを13年ぶりの頂点に導き「うれし過ぎて鳥肌が立った」と高柳。仲間にもみくちやにさながら喜びを爆発させた。

高柳が投入されたのは延長前半終了間際。「緊張したが積極的にいった」と持ち味のスピードを生かして動き続けた。約10分の出場時間でボールに触れたのは「1、2回」(高柳)だったが、「爆発力と1対1の強さがある」と評価する巻田清一監督(44)の期待に見事に応えた。耐えてつかんだ勝利だった。シュート数はわずか3本。それでも「延長では負ける気がしなかった」と巻田凌主将(3年)。厳しい練習で培った体力が100分間の戦いを支えた。DFの裏を狙ってくる相手の攻撃を最後までしきり、巻田主将は「気持ちで勝った」と胸を張った。

巻田監督は「苦しい試合で勝てたのは大きい」と今後の成長に期待する。インターハイは水戸短大付時代を含めて3度目。巻田主将は「これで満足せずレベルの高い相手にしっかりと勝ちたい」と頼もしかった。

競馬

○：男
メドレー
大会新で
馬(古河
1泳者で
リレー、
でも優勝
個人メ
メドレー
せて5冠
2日間
出場した
を一つ持
てくるハ
ル。十分
ともでき



平
本来の泳
○：女子
フライは平
島学園3年
91で頂点に
バタフライ
個人2冠を
昨年のイ
決勝に残り